

慶應義塾大学日吉キャンパス

オンライン授業の受講状況に関するアンケート調査

集計結果報告

1. 調査の概要

(1) 調査対象者

- ・慶應義塾大学日吉キャンパスに在籍する学部学生
総数10,451名（1年生5,781名・2年生4,670名）
※経済学部のPEARL (Programme in Economics for Alliances, Research and Leadership)の学生を除く

(2) 調査方法

- ・keio.jpアカウントに登録された学生のメールアドレスにアンケート調査回答依頼状を送付し、オンラインのアンケートフォームに日本語で入力してもらった
- ・回答は匿名。ただしkeio.jpアカウントによる認証が必要であり、学生のメールアドレスは自動的に記録されることを事前に告知した。回答締め切り後、個人が特定できないように処理をしてから集計を行った
- ・回答は1名につき1回までに制限

(3) 調査期間

- 2020年7月28日（火）～8月6日（木）
※8月7日朝までの回答を受け付けた。

(4) 回答数

- 5,807件（回収率55.6%）
※経済学部のPEARLの学生については、英語で別のアンケートを実施したため、本報告書の集計には加えていない。なお英語版アンケートの回答数は78であり、PEARLの在籍者220名に対して回収率35.5%であった。英語版アンケートのデータは今後、経済学部によって集計・活用される予定である。

(5) 質問項目の作成・調査結果の集計担当者²

- 坂本光（文学部）
赤江雄一（文学部）
小林宏充（法学部）
千田大介（経済学部）
塩原良和（法学部）
郭笑蕾（リサーチアシスタント：慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程）

¹ 文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・薬学部

² 質問項目の作成に際し、竹ノ下弘久・笠井賢紀・澤井敦（法学部）の各氏から助言を受けた。

2. 回答者の属性

回答者の所属学部別の分布に大きな偏りはないが、経済学部の回収率がやや低い。
学年別では、1年生の回答者が多く、2年生の回収率がやや低い。

(1) 所属学部・学科等

学部	学科	回答者数	パーセント	総数 (%)	回収率 (%)
文学部		614	10.6	892 (8.5%)	68.8
経済学部	(PEARL除く)	1099	18.9	2373 (22.7%)	46.3
法学部		1597	27.5	2600 (24.9%)	61.4
	(法律学科)	(806)			
	(政治学科)	(791)			
商学部		1151	19.8	2186 (20.9%)	52.7
医学部		75	1.3	112 (1.1%)	67.0
理工学部		1085	18.7	2066 (19.8%)	52.5
薬学部		186	3.2	222 (2.1%)	83.8
	(薬学科)	(136)			
	(薬科学科)	(50)			
合計		5807	100.0	10451 (100%)	55.6

(理工学部1年生)

	回答者数	パーセント
学門A	113	19.9
学門B	96	16.9
学門C	96	16.9
学門D	134	23.6
学門E	117	20.6
学門1-5 (2019年度以前入学者)	12	2.1
合計	568	100.0

(理工学部2年生)

	回答者数	パーセント
機械工学科	77	14.9
電気情報工学科	47	9.1
応用化学科	55	10.6
物理情報工学科	47	9.1
管理工学科	57	11.0
数理科学科	29	5.6
物理学科	25	4.8
化学科	22	4.3
システムデザイン工学科	68	13.2
情報工学科	62	12.0
生命情報学科	28	5.4
合計	517	100.0

(2) 学年³

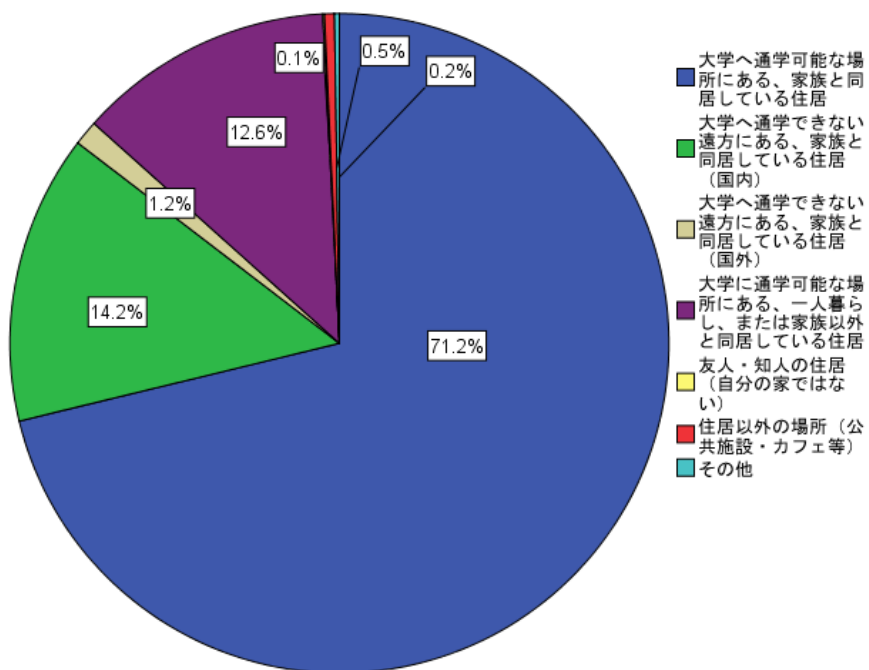
	回答者数	パーセント	総数 (%)	回収率 (%)
1年生	3565	61.4	5781 (55.3%)	61.7
2年生	2242	38.6	4670 (44.7%)	48.0
合計	5807	100.0	10451 (100%)	55.6

³ 文学部、医学部、薬学部は1年生のみ日吉キャンパスに在籍している

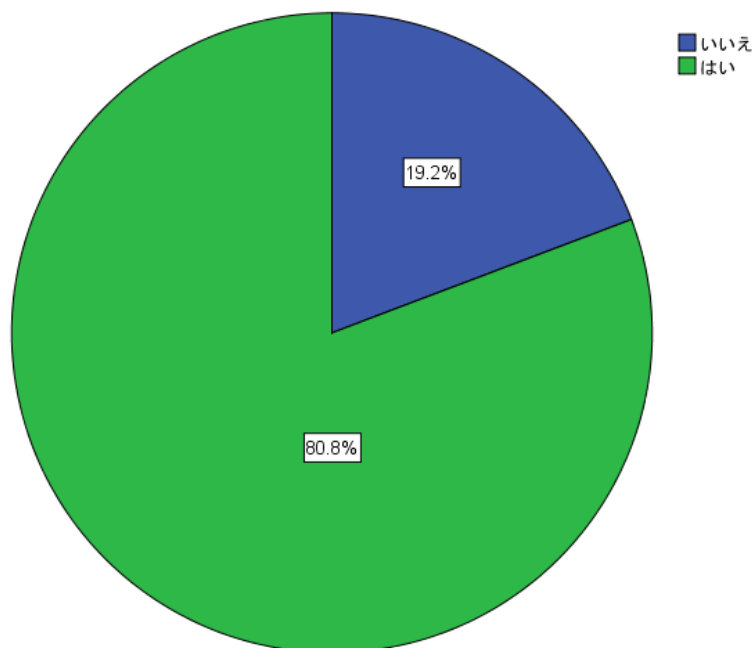
3. オンライン授業の受講環境と通信トラブル

回答者の約85%が家族と同居している国内の自宅（うち14.2%は通学圏外の実家）から、また約8割が自分一人だけがいる部屋から、オンライン授業を受講していた。

(1) 春学期、オンライン授業を主にどこで受講していましたか (N=5807)

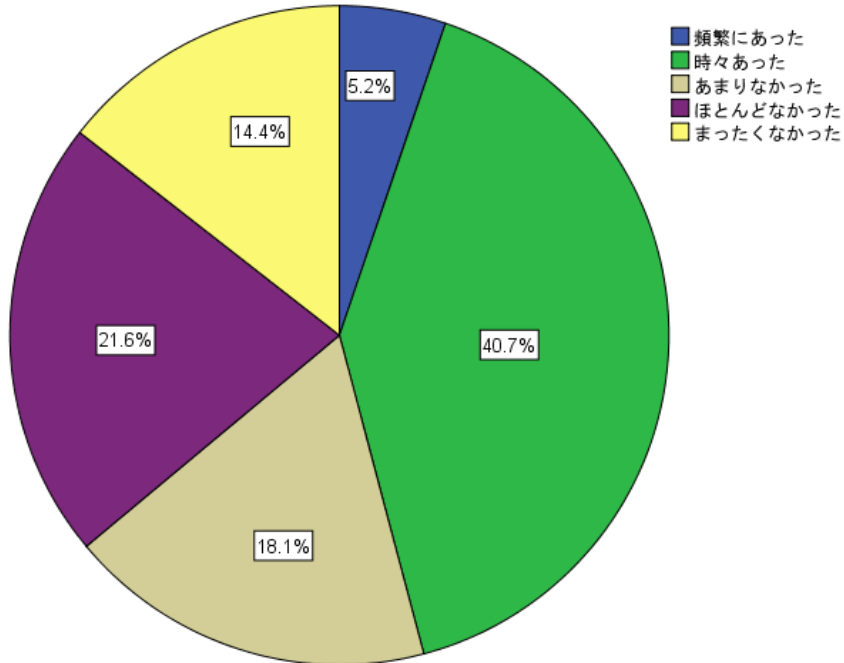


(2) ほぼ毎回、自分一人だけがいる部屋から授業を受講していましたか (N=5807)

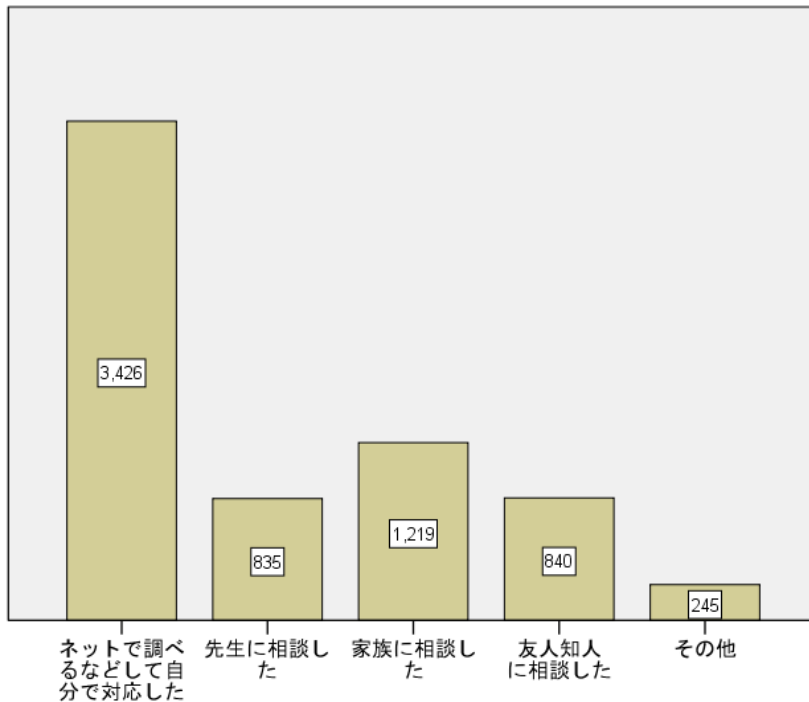


回答者の5割弱が、「頻繁に」または「時々」ネット通信環境や通信機器のトラブルを経験していた。また多くの回答者が、自力で対応してトラブルを解決していた。

(3) インターネットの通信環境や通信機器のトラブルで、うまく授業が受講できなかったことがありましたか (N=5807)



(4) トラブルには、どのように対処しましたか (複数回答)⁴

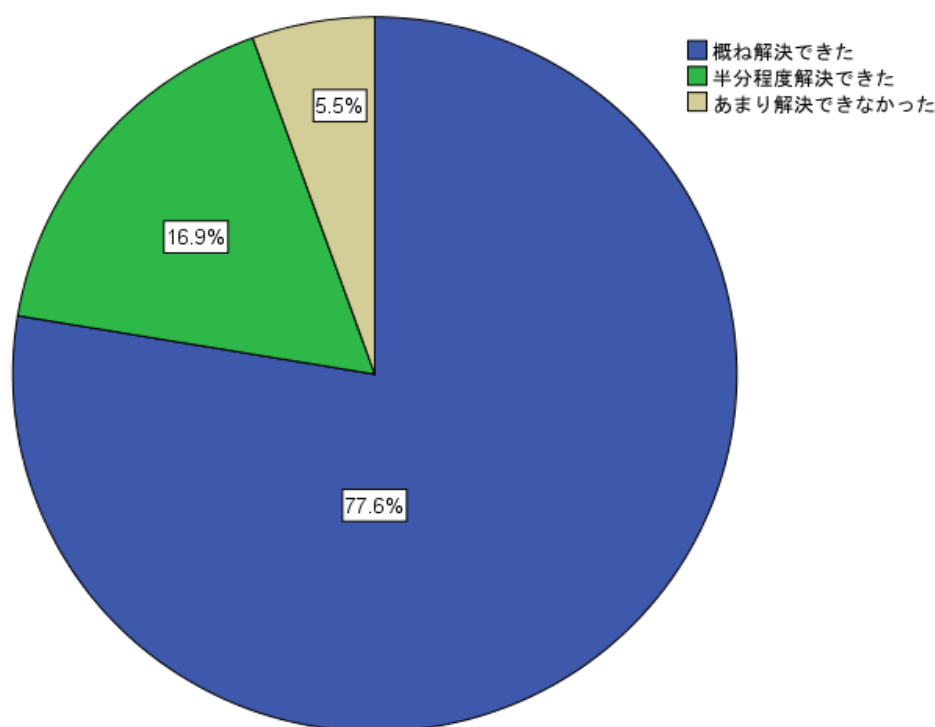


「その他」の自由記述に頻出した単語 (KH Coderで抽出)

抽出語	出現回数
時間	30
待つ	22
パソコン	21
解決	20
授業	18
諦める	18
Wi-Fi	14
先生	14
対処	14
回線	12
トラブル	11
起動	10
自分	10
動画	10
連絡	10

⁴ (3) で「まったくなかった」以外の回答をした人が回答

(5) その方法で問題が解決できましたか (N=4745)⁵



4. 履修したオンライン授業の形式と科目数

回答者の春学期の平均的な履修科目数は、オンデマンド形式の授業が9科目、リアルタイム形式の授業が2～3科目、文書資料の配布が中心の授業が1～2科目であった。ただし、1年生のほうが履修科目が多い傾向がみられた。

(1) 春学期、「映像・音声のオンデマンド配信（録画または音声を含む教材がほぼ毎週配信され、学生が各自好きな時間に視聴する形式）」の授業を、合計で何科目、履修登録しましたか（履修取消の手続きをした授業を除く）⁶

科目数の平均値	(全体)	9.08
	(1年生)	9.31
	(2年生)	8.72
科目数の中央値	(全体)	9.00
	(1年生)	9.00
	(2年生)	8.00
有効回答数		5792
無効回答数		15

※31以上は無効回答として除外

⁵ (3) で「まったくなかった」以外の回答をした人が回答（未記入者あり）

⁶ いくつかの形式が組み合わさった授業の場合、その授業でもっとも頻繁に用いたのが「映像・音声のオンデマンド形式」であった場合、「映像・音声のオンデマンド形式」の授業として回答してもらった。また「講義がリアルタイムでおこなわれ、あとで録画をみることができるもの」は「リアルタイム形式」として回答してもらった。

- (2) 春学期、「リアルタイム形式（その授業の時間割の時間内に先生の講義や解説を聴いたり討論したりする形式）」の授業を、合計で何科目、履修登録しましたか（履修取消の手続きをした授業を除く）⁷

科目数の平均値	(全体)	2.59
	(1年生)	2.61
	(2年生)	2.57
科目数の中央値	(全体)	2.00
	(1年生)	2.00
	(2年生)	2.00
有効回答数		5803
無効回答数		4

※31以上は無効回答として除外

- (3) 春学期、「録画・音声のオンデマンド配信」「リアルタイム形式」のどちらもほとんどなく、文書資料が配布されるのみの授業を、合計で何科目、履修しましたか（履修取消の手続きをした授業を除く）⁸

科目数の平均値	(全体)	1.80
	(1年生)	1.86
	(2年生)	1.70
科目数の中央値	(全体)	1.00
	(1年生)	1.00
	(2年生)	1.00
有効回答数		5805
無効回答数		2

※31以上は無効回答として除外

- (4) 春学期、上記以外の授業を、合計で何科目、履修登録しましたか（履修取消の手続きをした授業を除く）

科目数の平均値	(全体)	0.71
	(1年生)	0.69
	(2年生)	0.74
科目数の中央値	(全体)	0.00
	(1年生)	0.00
	(2年生)	0.00
有効回答数		5805
無効回答数		2

※31以上は無効回答として除外

⁷ いくつかの形式が組み合わさった授業の場合、その授業でもっとも頻繁に用いたのが「リアルタイム形式」であった場合に、「リアルタイム形式」の授業として回答してもらった。

⁸ いくつかの形式が組み合わさった授業の場合、その授業でもっとも頻繁に用いたのが「文書資料が配布されるのみの授業」であった場合に、「文書資料が配布されるのみの授業」の授業として回答してもらった。

(5) ひとつ前の質問で「ゼロ」以外の科目数を記入した方に伺います。それは、どのような授業でしたか (N=452)

※テキストマイニング用ソフトウェア「KH Coder」を用いて、自由回答記述の共起ネットワーク分析を実施した。その結果、主に以下のような回答のパターンが見いだされた。

- ・オンデマンド形式とリアルタイム形式を同等程度用いた授業
- ・市販の教科書・書籍やウェブサイト上の動画、映画などを講読・鑑賞させ、課題を提出させる授業、あるいは課題のみが提示される授業
- ・「大学生活における危機管理」
- ・芝共立キャンパスで実施された対面授業
- ・Slackを用いた、チャットによるリアルタイム形式の授業／等

5. 勉強時間

回答者の1日の勉強時間は3.5~4.3時間ほどであった。また2年生の約65%が、昨年度の秋学期よりも勉強時間が「大幅に増えた」と回答した。一方、1年生の約56%が、勉強時間が「少し」あるいは「まったく」足りなかったと回答した。勉強時間が足りなかった理由として圧倒的に多かったのは「授業で出された課題が多すぎた」であった。

すべての授業の予習・復習・課題作成(期末レポートを含む)・試験対策のために勉強した時間は、平均すると1日何時間くらいでしたか(期末試験期間を除く)

(1) リアルタイム形式の授業がある日の勉強時間(授業に参加している時間を除く)

1日の勉強時間の平均値	(全体)	3.57
	(1年生)	3.64
	(2年生)	3.45
1日の勉強時間の中央値	(全体)	3.00
	(1年生)	3.00
	(2年生)	3.00
有効回答数		5325
無効・非該当		482

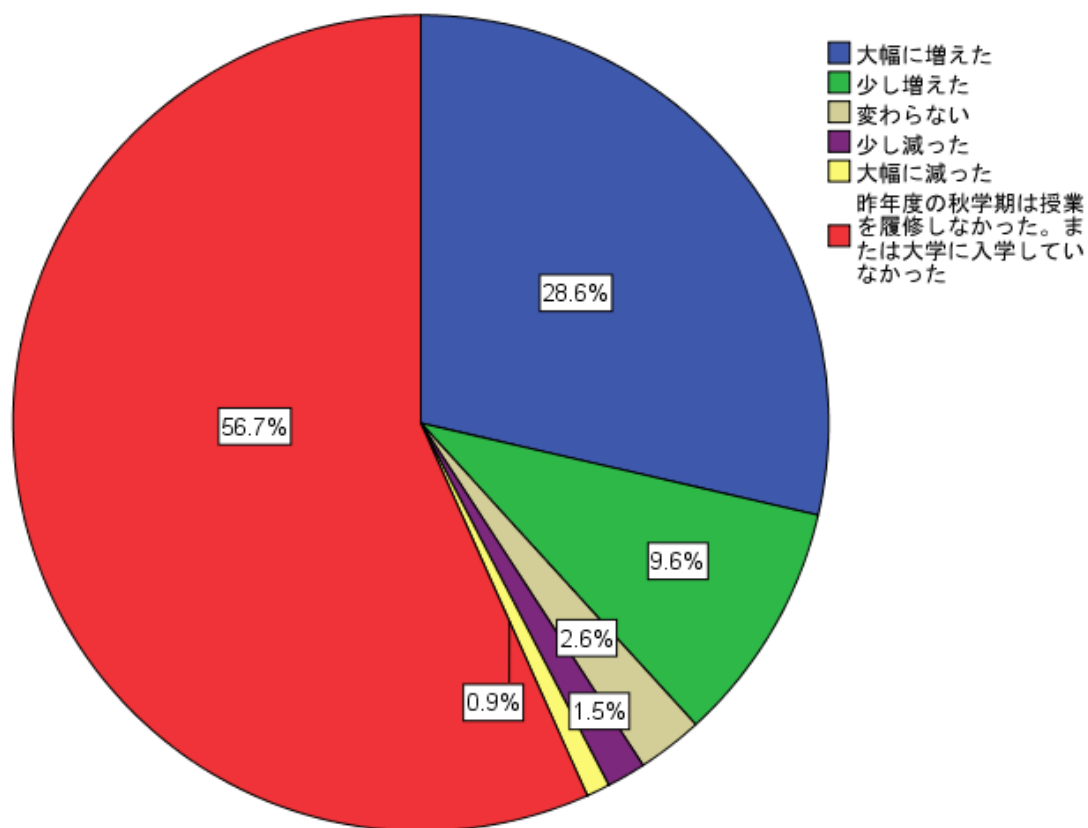
※リアルタイム授業を受けていない回答者と、24より多い回答は除外

(2) リアルタイム形式の授業がない日の勉強時間

1日の勉強時間の平均値	(全体)	4.27
	(1年生)	4.32
	(2年生)	4.17
1日の勉強時間の中央値	(全体)	4.00
	(1年生)	4.00
	(2年生)	4.00
有効回答数		5788
無効回答数		19

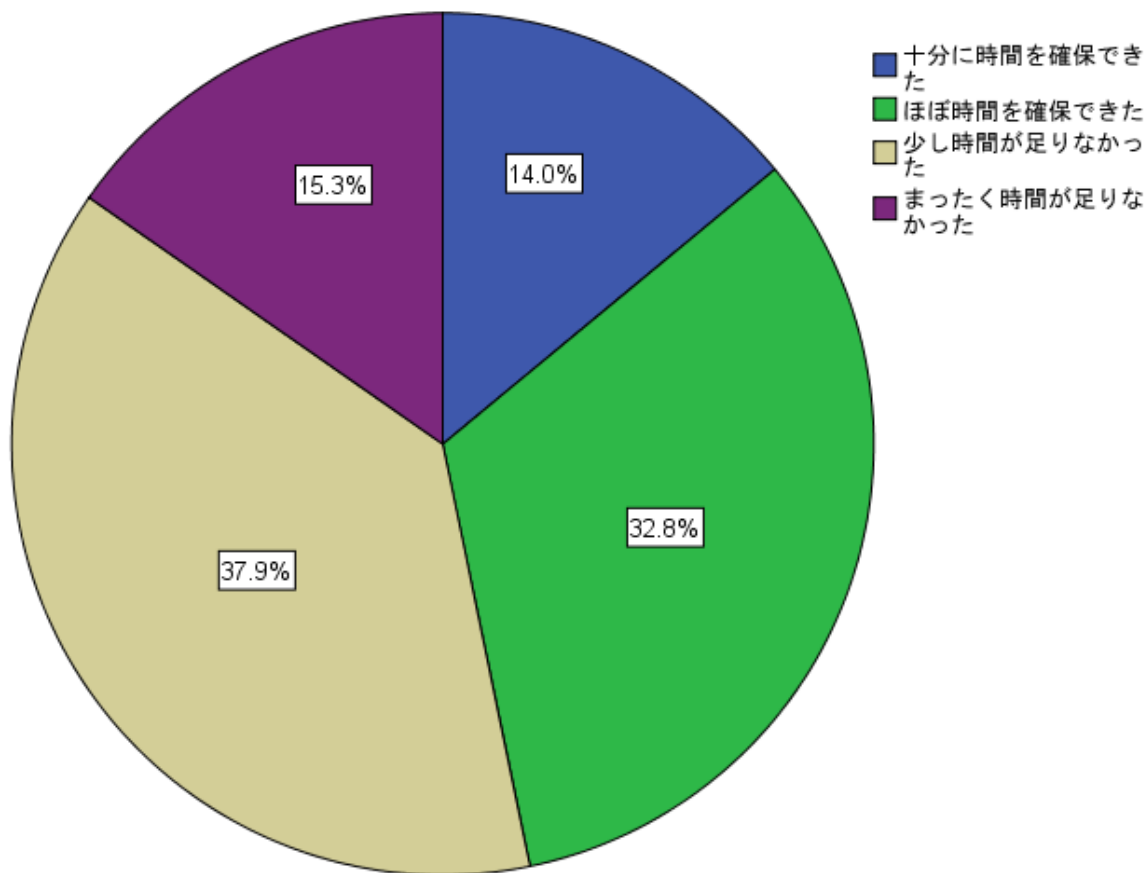
※24より多い数字は無効回答として除外

(3) すべての授業の教材学習（予習・復習）・課題作成（期末レポートを含む）・試験対策のために勉強した時間は、昨年度の秋学期に比べて増えましたか（期末試験期間を除く）（N＝5807）



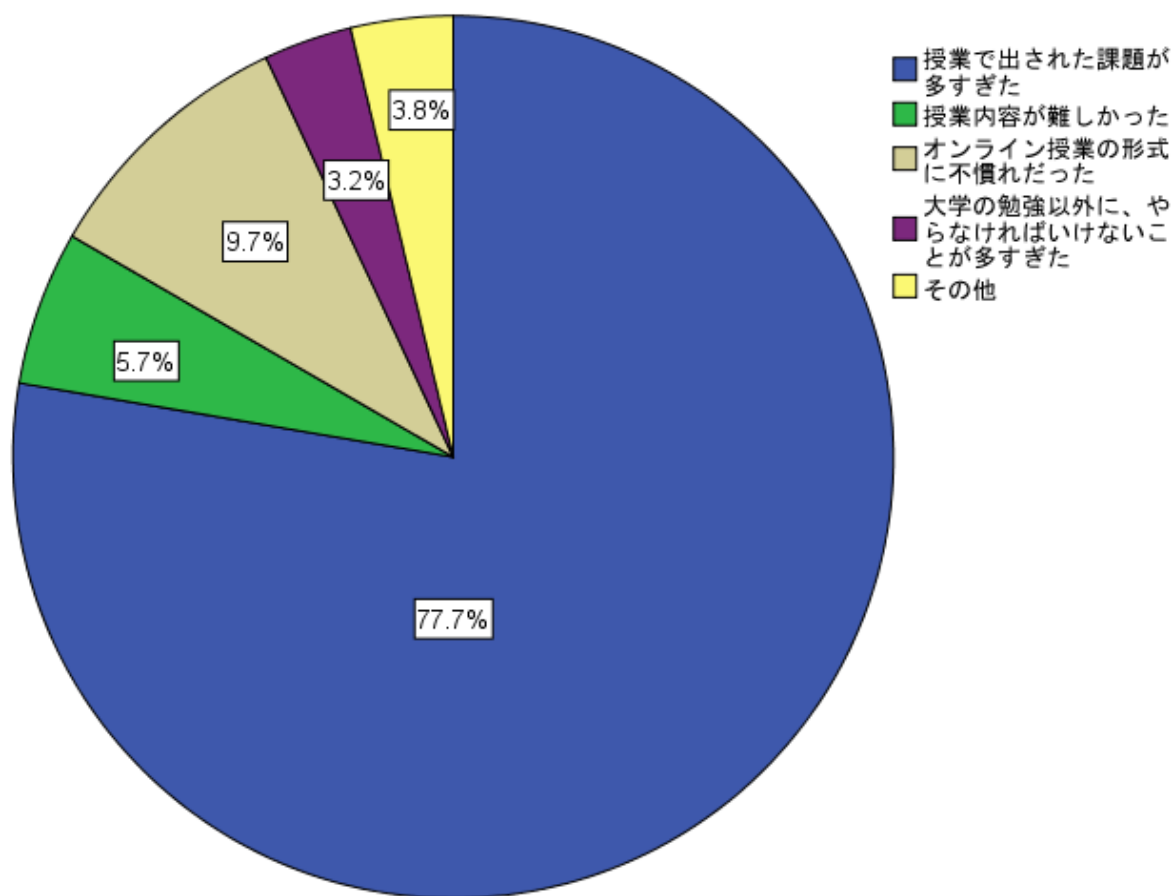
	1年生	2年生	合計
大幅に増えた	208	1454	1662
	5.8%	64.9%	28.6%
少し増えた	42	516	558
	1.2%	23.0%	9.6%
変わらない	18	133	151
	0.5%	5.9%	2.6%
少し減った	10	80	90
	0.3%	3.6%	1.5%
大幅に減った	4	50	54
	0.1%	2.2%	0.9%
昨年度の秋学期は授業を履修しなかった。または大学に入学しなかった	3283	9	3292
	92.1%	0.4%	56.7%
合計	3565	2242	5807
	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 春学期、すべての授業の教材学習・課題作成（期末レポートを含む）・試験対策のために、十分な勉強時間を確保できましたか（期末試験期間を除く）（N=5807）



	1年生	2年生	合計
十分に時間を確保できた	449	364	813
	12.6%	16.2%	14.0%
ほぼ時間を確保できた	1117	785	1902
	31.3%	35.0%	32.8%
少し時間が足りなかった	1432	771	2203
	40.2%	34.4%	37.9%
まったく時間が足りなかった	567	322	889
	15.9%	14.4%	15.3%
合計	3565	2242	5807
	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 勉強時間が足りなかった主な理由をひとつ教えてください (N=3092)⁹



	1年生	2年生	合計
授業で出された課題が多すぎた	1529	873	2402
	76.5%	79.9%	77.7%
授業内容が難しかった	120	55	175
	6.0%	5.0%	5.7%
オンライン授業の形式に不慣れだった	219	80	299
	11.0%	7.3%	9.7%
大学の勉強以外に、やらなければいけないことが多すぎた	58	42	100
	2.9%	3.8%	3.2%
その他	73	43	116
	3.7%	3.9%	3.8%
合計	1999	1093	3092
	100.0%	100.0%	100.0%

⁹ ひとつ前の設問で「少し時間が足りなかった」「まったく時間が足りなかった」と回答した人のみが回答

(6) 「大学の勉強以外に、やらなければいけないこと」はどのようなことですか (N=100)

※テキストマイニング用ソフトウェア「KH Coder」を用いて、自由回答記述中の頻出語を抽出した。出現回数4回以上の単語は以下のとおりである。資格試験などの勉強、アルバイト、部活動、家事・家庭の用事に関連する単語が多かった。

抽出語	出現回数
勉強	34
アルバイト (バイト)	33
部活動 (部活)	24
資格	19
家事 (家庭)	11
司法試験	8
活動	6
試験	6
公認会計士	5
予備試験	5
課題	4
自動車	4
取得	4

6. 課題・期末試験

回答者は平均して7～8科目、課題提出がほぼ毎週求められる授業を履修していた。途中で受講するのをやめた授業があった回答者は約15%であった。受講をやめた授業は外国語以外の講義形式が多く、やめた理由は「他の授業についていくことを優先した」が多かった。

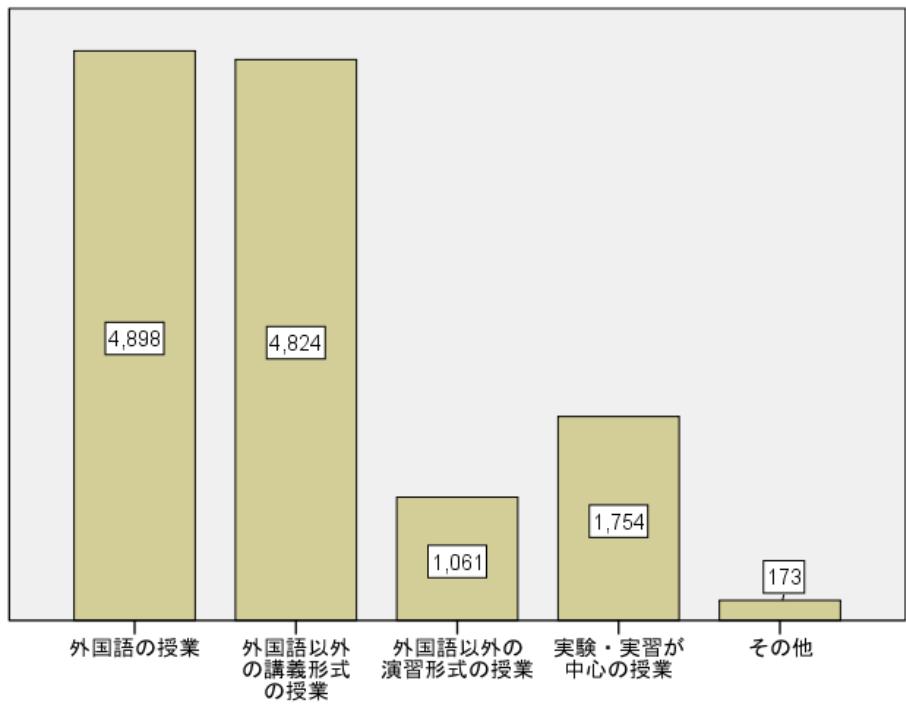
なお、春学期、回答者の学生には平均8本の期末レポートが課され、受験したリアルタイムでの期末試験は平均2科目であった。

(1) 春学期、ほぼ毎週、課題を提出しなければならなかった授業は何科目ありましたか (履修取消の手続きをした授業を除く)

科目数の平均値	(全体)	7.86
	(1年生)	8.19
	(2年生)	7.33
科目数の中央値	(全体)	8.00
	(1年生)	8.00
	(2年生)	7.00
有効回答数		5803
無効回答数		4

※31以上は欠損値として除外

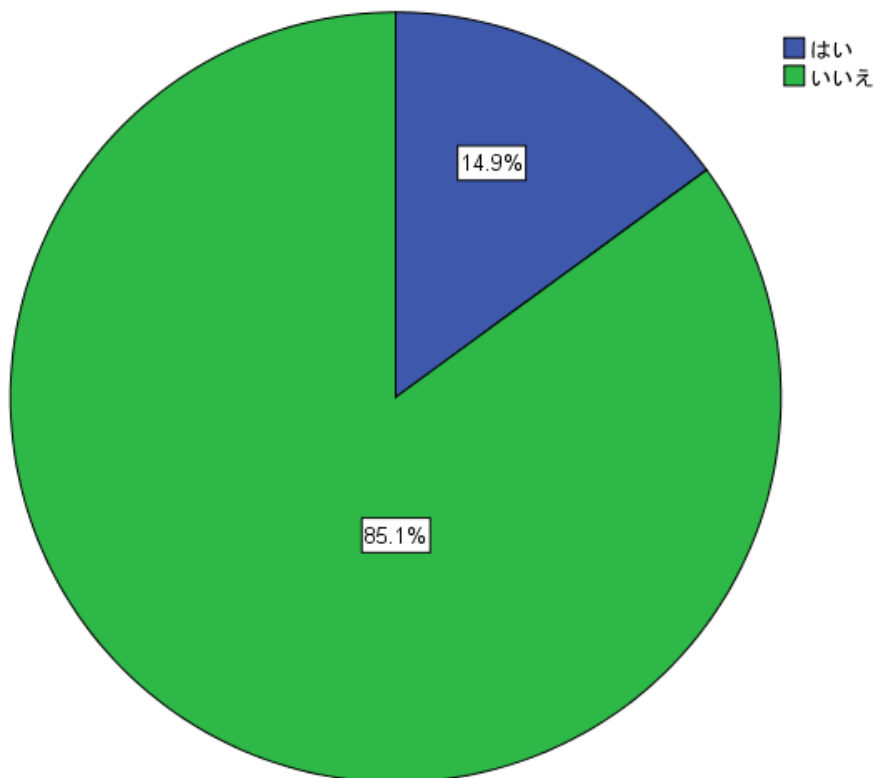
(2) ひとつ前の質問で「ゼロ」以外の科目数を記入した方に伺います。それは、どのような授業でしたか（複数解答）



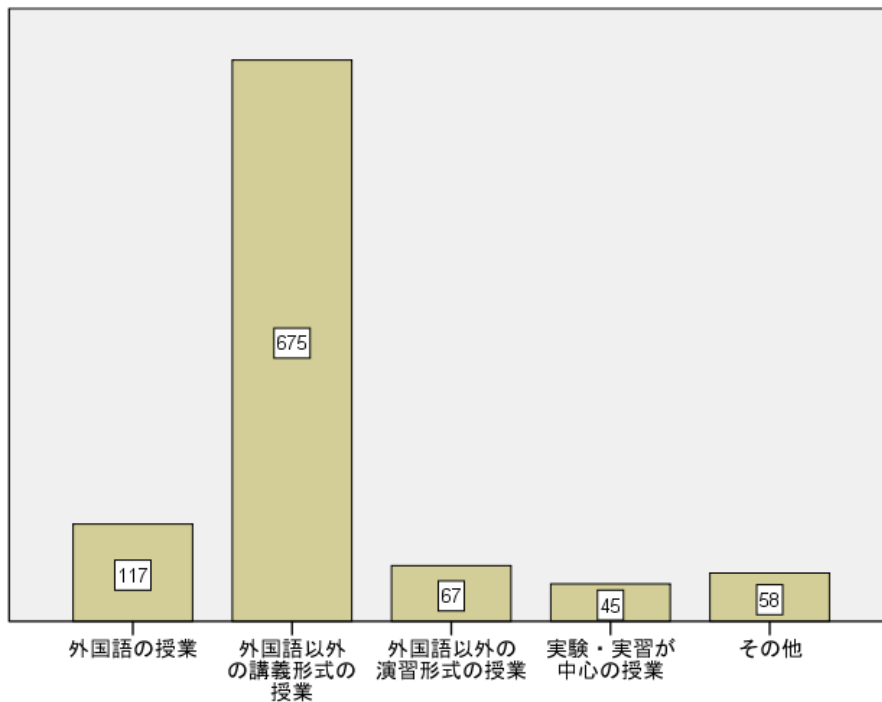
「その他」の自由記述に頻出した単語（KH Coderで抽出）

抽出語	出現回数
授業	55
科目	24
一般教養	16
課題	15
数学	14
歴史	11
レポート	10
資料	10
外国語	8
文学	8
法学	8

(3) 途中で、受講することをやめた授業はありましたか（履修取消の手続きをした授業を除く）
(N=5807)



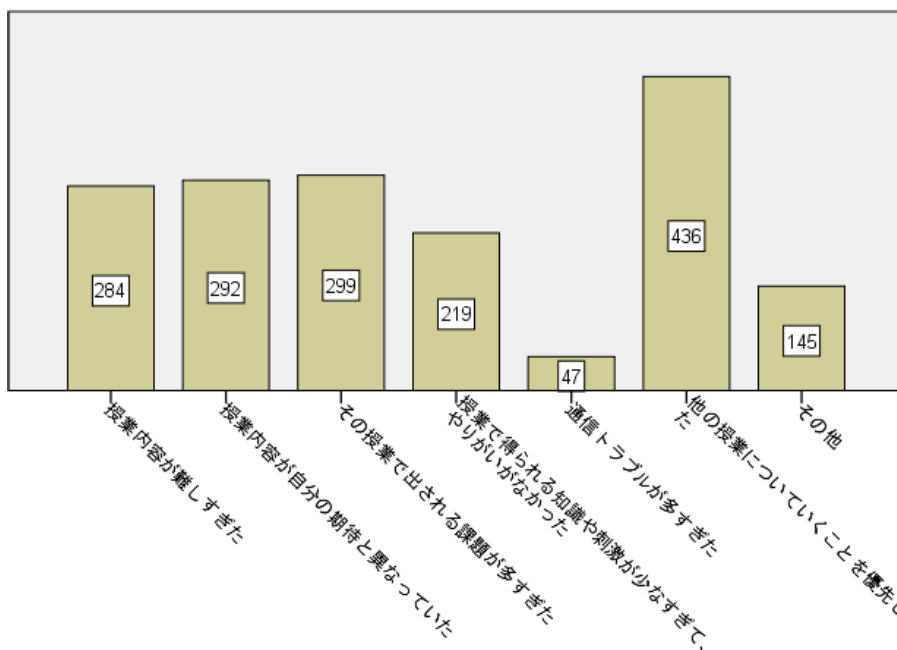
(4) それはどのような授業でしたか (複数解答)



「その他」の自由記述に頻出した単語 (KH Coderで抽出)

抽出語	出現回数
授業	16
科目	10
一般教養	8
配布	5
情報処理	4
数学	4
プログラミング	3
課題	3

(5) なぜ、受講することをやめたのですか (複数回答)



「その他」の自由記述に頻出した単語 (KH Coderで抽出)

抽出語	出現回数
授業	67
課題	36
時間	36
多い	16
他	15
先生	12
提出	11
読む	11
受講	10
オンライン	9
感じる	9
資料	9
自分	9

(6) 期末レポート（7月中旬から下旬が締切日であるレポート）が、合計でいくつ課されましたか（提出しなかったものも含む）

期末レポート本数の平均値	(全体)	8.12
	(1年生)	8.05
	(2年生)	8.23
期末レポート本数の中央値	(全体)	8.00
	(1年生)	8.00
	(2年生)	8.00
有効回答数		5802
無効回答数		5

※31以上は無効回答として除外

(7) 期末試験（定期試験期間中に実施されたもの）を、いくつ受験しましたか

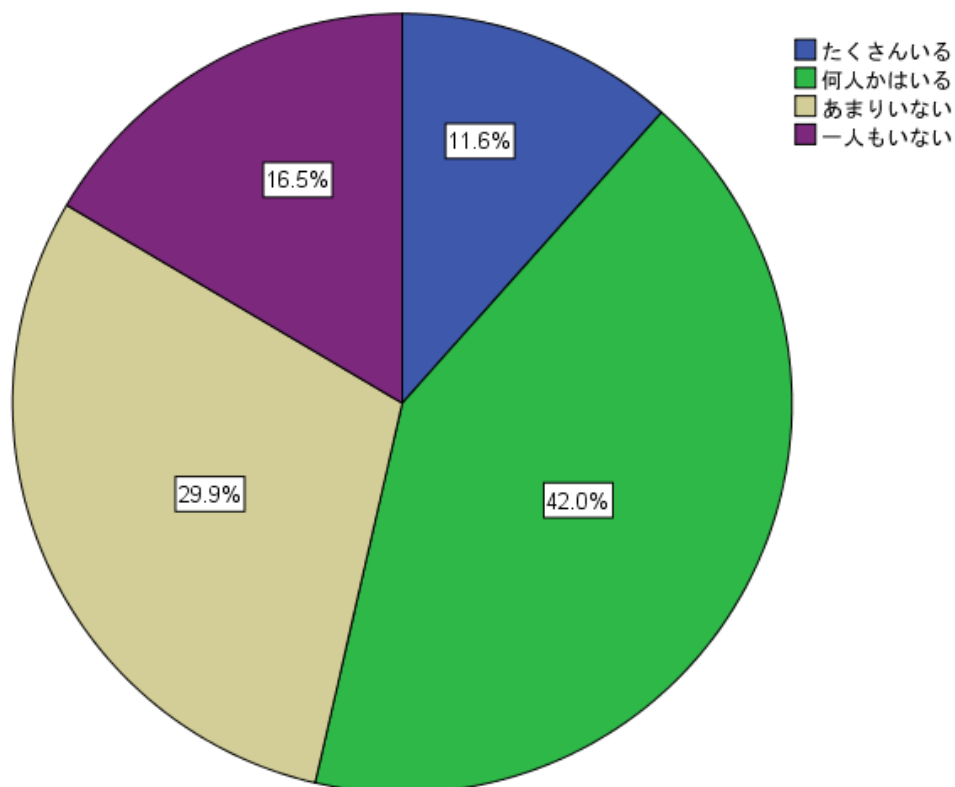
期末試験の回数の平均値	(全体)	1.95
	(1年生)	1.91
	(2年生)	2.00
期末試験の回数の中央値	(全体)	2.00
	(1年生)	2.00
	(2年生)	2.00
有効回答数		5805
無効回答数		2

※31以上は無効回答として除外

7. 学生どうしのつながり

2年生よりも1年生のほうが、授業についての情報を交換し、学びあえる大学内の仲間が少ない傾向がある。そのような仲間が「一人もいない」と回答した1年生は約23%に達する。

(1) 授業についての情報を交換したり、わからないところを教えてもらったり一緒に考えたりできる、慶應義塾大学の学生の知り合いはどのくらいいますか (N=5807)



	1年生	2年生	合計
たくさんいる	269	404	673
	7.5%	18.0%	11.6%
何人かはある	1249	1190	2439
	35.0%	53.1%	42.0%
あまりいない	1230	506	1736
	34.5%	22.6%	29.9%
一人もいない	817	142	959
	22.9%	6.3%	16.5%
合計	3565	2242	5807
	100.0%	100.0%	100.0%

8. オンライン授業への評価・大学への要望

授業から得られる情報量の多さという評価基準では、オンデマンド形式の授業がもっとも高く評価された。一方、知的成長の実感という評価基準では、教室での授業とオンデマンド形式の授業の評価が拮抗しているが、2年生は1年生に比べてオンデマンド授業を高く評価する傾向があった。リアルタイム形式の授業は、「コミュニケーションの楽しさ」という評価基準で教室での授業に次ぐ高い評価を得たが、それ以外ではオンデマンド形式の授業よりも低い評価であった。

※2020年度春学期の日吉キャンパスでは、授業担当教員に対してオンデマンド形式の授業実施が推奨され、教材作成のためのノウハウやサポートも、十分ではないもののITCや各学部から提供された。

映像・音声のオンデマンド配信形式のオンライン授業、リアルタイム形式のオンライン授業、文書資料の配信が中心の授業、教室で対面で行う授業の4つの形式に、次の観点から順位をつけてください (N=5807) ¹⁰

※以下、第1位を1.0、第2位を2.0、第3位を3.0、第4位を4.0として得点化し、その平均値・中央値・最頻値を算出した。すなわち、1に近ければ高評価の回答が多く、4に近ければ低評価の回答が多い。

(1) 授業から得られる情報量の多さ

	オンデマンド授業	リアルタイム授業	文書中心の授業	教室での授業
平均値 (全体)	1.7916	2.8824	3.2779	2.0480
(1年生)	1.8673	2.8962	3.3100	1.9265
(2年生)	1.6713	2.8604	3.2270	2.2413
中央値 (全体)	2.0000	3.0000	4.0000	2.0000
(1年生)	2.0000	3.0000	4.0000	2.0000
(2年生)	1.0000	3.0000	4.0000	2.0000
最頻値 (全体)	1.00	3.00	4.00	1.00
(1年生)	1.00	3.00	4.00	1.00
(2年生)	1.00	3.00	4.00	1.00

(2) 授業を受けることによって自分が知的に成長できたという実感の大きさ

	オンデマンド授業	リアルタイム授業	文書中心の授業	教室での授業
平均値 (全体)	2.0017	2.7252	3.3494	1.9237
(1年生)	2.0844	2.7223	3.3933	1.8000
(2年生)	1.8702	2.7297	3.2797	2.1204
中央値 (全体)	2.0000	3.0000	4.0000	1.0000
(1年生)	2.0000	3.0000	4.0000	1.0000
(2年生)	2.0000	3.0000	4.0000	2.0000
最頻値 (全体)	1.00	3.00	4.00	1.00
(1年生)	2.00	3.00	4.00	1.00
(2年生)	1.00	3.00	4.00	1.00

¹⁰ 順位を重複させず、第1位から第4位まで順位をつけてもらった。なお「教室での授業」については、回答者がこれまで受けてきた授業（1年生は、高校での授業）の経験から判断してもらった。

(3) 授業を受けることで生まれる、クラスメートや先生とのコミュニケーションの楽しさ

	オンデマンド授業	リアルタイム授業	文書中心の授業	教室での授業
平均値 (全体)	2.8972	2.0713	3.8068	1.2247
(1年生)	2.9130	2.0690	3.8112	1.2067
(2年生)	2.8720	2.0749	3.7997	1.2533
中央値 (全体)	3.0000	2.0000	4.0000	1.0000
(1年生)	3.0000	2.0000	4.0000	1.0000
(2年生)	3.0000	2.0000	4.0000	1.0000
最頻値 (全体)	3.00	2.00	4.00	1.00
(1年生)	3.00	2.00	4.00	1.00
(2年生)	3.00	2.00	4.00	1.00

(4) あなたが授業を評価するときに重視する、それ以外の観点があれば、それを記入してください (任意回答)

※テキストマイニング用ソフトウェア「KH Coder」を用いて、自由回答記述の共起ネットワーク分析を実施した。1年生と2年生回答を分析すると、主に以下のような記述のパターンが見いだされた。

1年生の回答	2年生の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業時間」 ・「課題の量の適切さ」 ・「質問への先生への対応」 ・「丁寧な説明・解説」／等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業の課題の量」 ・「先生と学生のコミュニケーション」 ・「質問への対応」 ・「内容の理解」 ・「生徒がわかる」／等

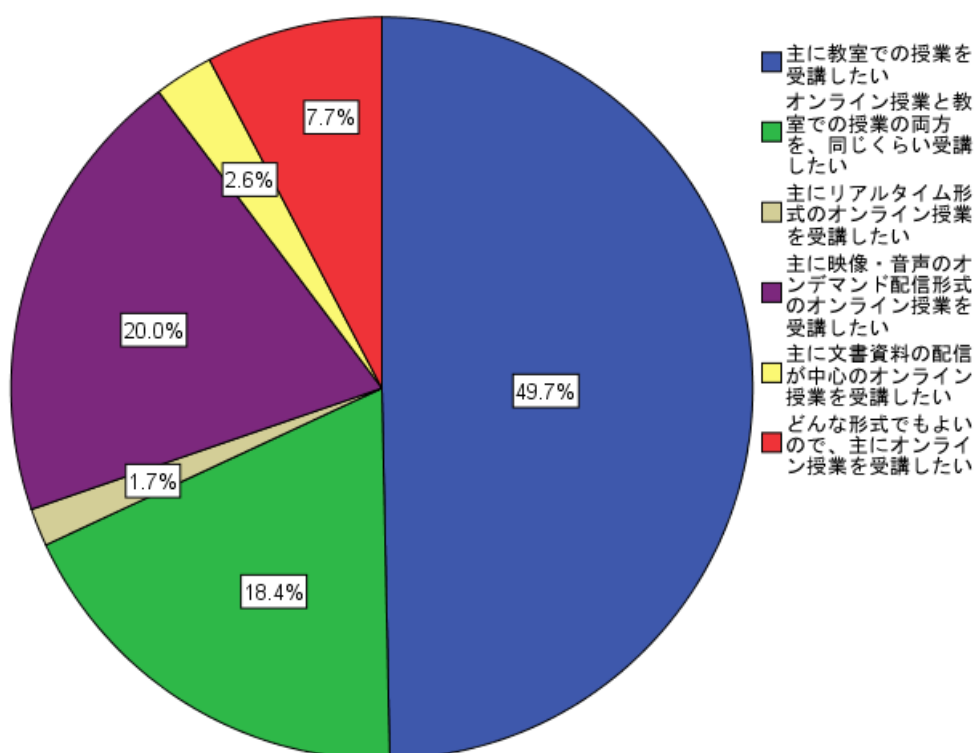
(5) ひとつ前の質問で記入した観点から、順位をつけてください (任意回答)

	オンデマンド授業	リアルタイム授業	文書中心の授業	教室での授業
平均値 (全体)	2.20	2.63	3.16	2.02
(1年生)	2.2972	2.6237	3.2011	1.8838
(2年生)	2.0516	2.6334	3.1114	2.2165
中央値 (全体)	2.00	3.00	4.00	1.00
(1年生)	2.00	2.00	4.00	1.00
(2年生)	2.00	3.00	4.00	2.00
最頻値 (全体)	3	2	4	1
(1年生)	3	2	4	1
(2年生)	1	2	4	1

コロナ禍が収束した後に受けてみたい授業を尋ねると、1年生の6割弱が主に教室で授業を受けることを希望しており、オンライン授業と半々で受講したいという回答と合わせると約75%に達する。それに対し、2年生では主に教室で授業を受けることを希望するのは4割に満たず、オンライン授業と半々で受講したい回答と合わせても6割弱に留まった。

自由回答の記述をみると、主に教室で授業を受けたい回答者は、大学のキャンパスでの先生や級友との交流を願っていることが伺えた。一方、主にオンデマンド形式の授業を希望する回答者は、通学時間がなく、自分の好きなペースで受講できる利便性を重視する傾向があった。

(6) 新型コロナウイルスへの感染を心配しなくてよくなった後、オンライン授業と、教室で対面で行う授業の両方を自由に選択して履修できるとしたら、あなたは次のうちどれを希望しますか (N=5807)



	1年生	2年生	合計
主に教室での授業を受講したい	2029	855	2884
	56.9%	38.1%	49.7%
オンライン授業と教室での授業の両方を、同じくらい受講したい	619	449	1068
	17.4%	20.0%	18.4%
主にリアルタイム形式のオンライン授業を受講したい	56	40	96
	1.6%	1.8%	1.7%
主に映像・音声のオンデマンド配信形式のオンライン授業を受講したい	577	585	1162
	16.2%	26.1%	20.0%
主に文書資料の配信が中心のオンライン授業を受講したい	72	78	150
	2.0%	3.5%	2.6%
どんな形式でもよいので、主にオンライン授業を受講したい	212	235	447
	5.9%	10.5%	7.7%
合計	3565	2242	5807
	100.0%	100.0%	100.0%

(7) なぜそれを希望するのですか (N=5807)

※テキストマイニング用ソフトウェア「KH Coder」を用いて、自由回答記述の共起ネットワーク分析を実施した。回答数が多かった「主に教室での授業を受講したい」と「主に映像・音声のオンデマンド配信形式のオンライン授業を受講したい」の回答者の記述を分析すると、主に以下のような記述のパターンが見いだされた。

「主に教室での授業を受講したい」の回答者	「主に映像・音声のオンデマンド配信形式のオンライン授業を受講したい」の回答者
<ul style="list-style-type: none"> ・「大学の教室で授業を受ける」 ・「オンライン授業は課題が多い」 ・「先生／教授に直接質問／コミュニケーションを取る」 ・「友達が欲しい／つくる」 ・「他の学生／生徒と交流」 ・「学校・キャンパスに行く」 ・「家では集中できない」／等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学時間」「自分の好きな時間に受講」 ・「自分のペースで学習」 ・「繰り返し見る」「巻き戻す」 ・「コロナウイルスの感染リスク」／等

(8) 秋学期もオンライン授業が実施される場合、大学に対して要望があれば記入してください。貴重な意見として今後の授業運営に活用します (任意回答) (N=3948)

※テキストマイニング用ソフトウェア「KH Coder」を用いて、自由回答記述の共起ネットワーク分析を実施した。1年生と2年生の記述を分析すると、主に以下のような記述のパターンが見いだされた (以下はあくまでも約4000名の学生の意見の輪郭を示しただけであり、個々の記述を可能な限り精査し、今後の授業運営の参考とすることが望まれる)

1年生の回答	2年生の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業時間」 ・「課題」「量」「多い」 ・「対面／対面授業」「オンライン」「一部」「語学」「感染」 ・「オンライン授業」「秋学期」「学生」「考える」 ・「期末」「試験」「レポート」「提出」 ・「先生」「質問」 ・「成績評価」 ・「学費」「施設」／等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業」「時間」「課題」「量」「多い」「減らす」 ・「オンライン／オンライン授業」「秋学期」「大学」「学生」 ・「対面／対面授業」「語学」「感染」「リスク」「通学」 ・「期末」「試験」「レポート」「提出」「期間」 ・「成績評価」 ・「負担」「大きい」／等